

中野区療育センター
ゆめなりあ
平成 31 年度事業報告

1 年間総括

施設長 徳嵩順一

児童発達支援事業は1日当たりの定員30名に対し、1日の平均利用児が23.3名だった。平成30年度は1日の平均利用児が24名だったため、0.7名減少している。夏休みは帰省があり利用率が低かったことが影響している。放課後等デイサービス事業は1日当たりの定員20名に対し、1日の平均利用児が13.9名で平成30年度より増加したが、年度末に起こった新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、3月は50%の利用率と落ち込んだ。障害児相談支援事業の登録児は176名で平成30年度(151名)に比べて増加している。

2 児童発達支援事業 定員30人

児童福祉法第6条の2の2第2項に基づき、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応支援等を実施する事業。

(1) 親子分離クラス：さくら

対象：3～4歳児

曜日：月曜日～金曜日

時間：9時30分～13時45分

内容：制作、粘土、感触、散歩、運動、お絵かき、ふれあい、リズムなど様々な遊びなどを提供し、子どもの主体性や社会性を育てていくよう支援した。新入園児は親子登園としたが、一定期間経過後は単独登園とした。保護者と支援方針を共有するために第4週目に親子参加週間を設定した。特別支援療育(ST、心理、PT、OT)は必要に応じて登園日に提供した(保護者同伴)。

(2) 親子分離クラス：たんぽぽ

対象：4～5歳児

登園日：月曜日～金曜日

時間：9時30分～13時45分

内容：制作、粘土、感触、散歩、運動、お絵かき、ふれあい、リズムなど様々な遊びなどを提供し、子どもの主体性や社会性を育んだり、興味関心が広がるように支援した。特別支援療育(ST、心理、PT、OT)は必要に応じて登園日に提供した(保護者同伴)。保護者と支援を共有するため、親子同伴で実施した。

(3) 親子通園クラス：もも

対象：2歳児

登園日：月曜日～金曜日のうち、週1～2日程度

時間：9時30分～11時45分

内容：制作、粘土、感触、散歩、運動、お絵かき、ふれあい、リズムなど様々な遊びなどを提供し、子どもの主体性や社会性を育んだり、興味関心が広がるように支援した。特別支援療育(ST、心理、PT、OT)は必要に応じて登園日に提供した(保護者同伴)。保護者と支援を共有するため、親子同伴で実施した。

(4) 親子分離クラス：ひまわり

対象：4～5歳児

登園日：金曜日

時 間：14時30分～16時00分

内 容：ルールのある遊びやお友達と一緒に取り組む活動を提供し、勝ち負けを受け入れる経験やお友達と協力する経験、やりとりする経験に繋がるように支援した。また、気持ちの振り返りを通し、自分の気持ちへの気づきや表現することを支援した。
特別支援療育（ST、心理、PT、OT）は必要に応じて登園日に提供した（保護者と支援を共有するため、親子同伴で実施した）。

(5) 音楽活動

担 当：音楽講師

実施日：水・木曜日

時 間：11時00分～12時00分

内 容：山、月、空、星、もものグループ（1グループ5名程度）に分かれ、日替わりで実施。歌、楽器、体操、GO&STOP、模倣、クールダウンなどを実施した。

(6) 就園児支援

対 象：幼稚園・保育園等に所属する児。

登園日：月曜日～土曜日のうち月2回程度

時 間：1回45分

内 容：ご希望とニーズに応じて、特別支援療育（ST、心理、PT、OT）を提供した。

保育園等巡回事業の担当者や所属園と情報交換を行い、特性の理解や必要な支援の共有をはかった。

(7) 利用実績

児童発達支援	さくら 週5日	たんぽぽ 週5日	もも 週2日	ひわまり 週1日	特別支援療育 月曜日～土曜日	令和元年度 合計
登録人数	13人	15人	5人	6名	152人	191人
事業実施日	232日/ 年	232日/ 年	89日/ 年	47日/ 年	281日/ 年	281日/ 年
利用実績	1,733人	1,551人	247人	219人	2,784人	6,532人/年
	7.5人	6.7人	2.8人	4.7人	9.9人	23.3人/日

3 障害児相談支援事業

児童福祉法第6条の2の2第6項に基づき、障害福祉サービス等の利用希望申請があった障害児について、障害児支援利用計画の作成、及び支給決定後の障害児支援利用計画の見直しなどを行う事業。

件数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
サービス等利用 計画	29	29	16	16	21	16	8	18	21	18	16	12	220
モニタリング	1	10	14	16	15	23	15	17	16	14	12	5	158

4 放課後等デイサービス事業 定員 20 名

児童福祉法第 6 条の 2 の 2 第 4 項に基づき、放課後及び夏休み等の長期休業期間中に生活能力向上のために必要な支援等を実施する事業。

(1) 集団活動

対 象：小学生～高校生

利用日：月曜日～土曜日

時 間：放課後～17:00、10:00～17:00

内 容：制作、感触遊び、外出、調理活動などを通して、子どもの主体性や社会性を育てるように支援した。

(2) 個別・小グループ

対 象：主に通常学級に通う小学生

利用日：火・水・木曜日

時 間：個別 15 時 45 分～16 時 30 分

小グループ 15 時 30 分～16 時 30 分

内 容：ご希望とニーズに応じて、特別支援療育（ST、心理、PT、OT）を提供した。

(3) 音楽活動

担 当：音楽講師

実施日：月曜日

時 間：16 時 00 分～17 時 00 分

内 容：ドラゴン、ペガサス、ユニコーンのグループ（1 グループ 5 名程度）に分かれ、日替わりで実施。歌、楽器、太鼓、GO&STOP、模倣、クールダウンなど

(4) 利用実績

放課後等デイサービス	令和元年度
登録人数	82 人
事業実施日	289 日／年
利用実績	4,008 人／年
	13.9 人

5 療育相談事業

中野区療育指導事業運営要綱に基づき、発達支援や療育等に関する専門的な相談を実施する事業。

対 象：0～18 歳

内 容：主に各すこやか福祉センターからの紹介で療育についての相談を行った。療育相談日は月に 4 日設定し、毎回ほぼ予約でうまっていた。

分 類	合 計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	年 少	年 中	年 長	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 学 生	高 校 生
精神発達地帯(疑い含)	8		3	1		1		1			1			1	

む)															
広汎性発達障害(疑い含む)	47		5	12	12	5	5	2		3	2			1	
注意欠如多動性障害(疑い含む)	18	1			7	2	5		2				1		
ダウン症候群	3	1					1			1					
その他の染色体異常	3	3													
脳性麻痺 (CP)	1			1											
脳障害	2			1			1								
運動機能障害	9	5	3	1											
構音障害	14				2	7	5								
その他	24		8	6	5	4	1								
計	129	10	19	22	26	19	18	3	2	4	3		1	2	

6 保育園等巡回訪問事業

中野区療育指導事業運営要綱に基づき、発達上の課題や障害があると思われる子どもが在籍する保育園、幼稚園などを定期的に巡回訪問し、対象児及び保護者への対応を職員等へ助言する事業。

対 象：幼稚園・保育園に所属する児。

対象園：主に中部すこやか福祉センター及び南部すこやか福祉センターが管轄する園

内 訳：

訪問先	園数	延べ訪問回数	延べ児童数	対象児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
区立保育園 (他区含む)	10	104	433	94	2	3	13	21	32	23
私立保育園	31	219	807	247	3	12	42	48	64	78
私立幼稚園 (他区含む)	13	53	222	92	0	0	0	30	37	25
乳児院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定子ども園	1	11	105	25	1	0	2	5	7	10
合計	55	387	1,567	458	6	15	57	104	140	136

7 一時保護事業

中野区立障害児通所支援施設一時保護事業実施要綱に基づき、保護者の疾病、用事等の理由で、子どもを一時的に保育することが出来なくなった時に、子どもを一時的にお預かりする事業。

定 員：3名

対 象：0～18歳の療育や専門指導を受けている子ども、障害手帳を交付されている子ども。

時 間：平日 9:00～18:00、土曜日 9:00～16:00

実 績：

一時保護	令和元年度
登録人数	113 人
事業実施日	281 日／年
利用実績	481 人／年
	2,154 時間 15 分

8 児童発達支援事業利用児童の「きょうだい対応保育人」事業

定 員：3名（同一時間帯における）

対 象：定額を目安とした月齢で風邪症状等のない健康な未就学児

時 間：9:20～16:40

実 績：

きょうだい対応	令和元年度
登録人数	49 人
事業実施日	217 日／年
利用実績	347 人／年

9 地域啓発事業

11月2日（土）10：00～12：00に南中野区民活動センターを借りて学習会を実施した。

テーマ：障害のある方の仕事と生活

参加人数：10名

10 カームダウンルームの運営

各事業（児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、一時保護事業）の利用児童で適宜使用した。

11 その他

（1）避難訓練

児童発達支援事業は毎月、放課後等デイサービス事業は年2回実施した。12月に南中野区民活動センターと合同で消防署指導による初期消火訓練を実施した。また、3月に中野警察署の指導による不審者対応訓練を計画中だったが、感染症拡大防止の観点から中止とした。

（2）スタッフ体制

	常勤	非常勤		常勤	非常勤
管理者・児童発達支援管理責任者	1 人		理学療法士		2 人
児童発達支援管理責任者	1 人		心理職	5 人	4 人
児童発達支援管理責任者・言語聴覚士	1 人		看護師		6 人

支援スタッフ	9人	19人	音楽講師		1人
事務員	2人	1人	スーパーバイザー		5人
相談支援専門員	2人	1人	嘱託医		5人
言語聴覚士	2人	1人	オンブズマン		1人
作業療法士	3人	2人	合計	26人	48人